1995

平成７年度　活動計画書

（案）

日本ボーイスカウト京都第３８団
カ　ブ　ス　カ　ウ　ト　隊

は　じ　め　に

平成７年度活動計画書の作成にあたり，平成６年９月１７日（土）に本部会議を行い，西脇隊長の就任２年目を迎えて本部体制の充実強化を図るため，父兄リーダーの増員が不可欠であるとの判断から福井・畑の両氏に協力をお願いし，畑氏については副長として，福井氏についてはインストラクターとしての就任内諾を得ているところである。

このことにより平成７年度は，西脇隊長と西脇副長補に加えて５名の父兄リーダーの体制が実現し，カブ隊の活動のさらなる発展が期待できるものと確信している。

なお，デンリーダーについては１０月６日（木）の母の会において正式決定となる見込みである。

また，スカウトリーダー養成の観点から現在２名（入矢次郎君・西野誠人君）のインストラクターについても１名の増員を行いたいと考えており，これについてはシニア隊々長との協議事項としたい。

さらに，組活動の中心となるデンコーチについてもボーイ隊々長と協議を行い，早急に人選を行いたいと考えている。

以上本部体制等についての構想を前提として，来年度の活動計画についての具体的な策定作業を行い，

・活動内容がマンネリ化していないか，
・活動内容がスカウトのニーズに応えられているか
・活動内容がスカウト活動としてふさわしいものであるか

などの点に留意して個別のテーマ・内容・目標・実施場所を立案した。

例年と比較して大きく異なるのは一泊キャンプの実施時期を４月にしたことである。このことにより，７～８月に大きな事業が集中する事，土曜日の授業終了後の取組であったため時間的余裕がなかった事，梅雨明け前の天候不順な時期であった事などの困難な状況が解消できるのみならず，新しい組で活動を始めて丁度等間隔で１泊そして３泊とスカウトの発達段階に対応した宿泊訓練が可能になると思われる。そして，来年度は京都連盟創立８０周年にあたり，その記念行事として８月５日から６日にかけて連盟カブラリーが大久保駐屯地において開催されるため，例年８月上旬に行ってきた夏季キャンプの実施時期を７月下旬に変更することとした。

プログラムの概要については次頁以降のとおりである。

日本ボーイスカウト京都第３８団カブ隊

平成７年度　年間活動プログラム

（6．9．28）

月	テーマ	内容	目標	実施場所	さわがに担当	優秀賞担当	備考
12	舞い上がれ 僕らの希望	凧作り	工作	出雲路橋西詰			1/ 8(日)
1	白銀は招くよ	雪中ハイク	いつも元気	北山方面			2/ 5(日)
2	都会の自然を求めて	サイクリング	体力作り	御所			3/ 5(日)
3	(キャンプのテーマ)	一泊キャンプ	基本	花背山の家			4/ 1(土) ~ 2(日)
4	クッキングスカウト	野外料理	準備	静原キャンプ場			5/ 7(日)
5	(カブラリーのテーマ)	カブラリー	友情	(未定)			(未定)
6	グリーンパワー	自然教室 PARTⅠ	自然保護	植物園			7/ 2(日)
7	(キャンプのテーマ)	夏季キャンプ	協力	芦生			7 28(金) ~31(月)
8	動物はともだち	自然教室 PARTⅡ	動物愛護	動物園			9/ 3(日)
9	たすきをつないで	お別れ隊集会	記録	鴨川周辺			10/ 1(日)
10	資源を守れ	施設見学	観察	清掃工場・温水プール			11/ 5(日)
11	目指せ救急救命士	救急法	安全	ハウス長休			12/ 3(日)

※京都連盟８０周年記念カブラリー：８／５～６（大久保駐屯地）

集会・会議予定

月例隊集会	原則として毎月第１日曜日
母の会	隊集会直後の木曜日　19:30 ～　（終了後リーダー会議）
団会議	原則として毎月第１日曜日　20:00 ～
本部会議	原則として毎月第２日曜日　19:30 ～
その他	デンコーチ会議，組長・組次長会議，テーマ委員会，父の会（随時）

・12月のテーマ　「舞い上がれ僕らの希望」
　内容：凧作り
　目標：工作
　実施場所：出雲路橋西詰
　実施予定日：１月８日（日）　［半日プログラム］
　活動予定：組ごとに大型の立体凧づくりに挑戦

・1月のテーマ　「白銀は招くよ」
　内容：雪中ハイク
　目標：いつも元気
　実施場所：北山方面
　実施予定日：２月５日（日）　［１日プログラム］
　活動予定：これまで数年間ハイキング（歩き）を主体とした取組を行ってきたが，来年度は雪遊び（ソリ滑り等）を主体とした内容で実施する。当然のことながら雪のあることが前提条件となるため，実施場所についてはあらかじめ複数の候補地を選定し，当日の積雪状況によって決定する方法を検討。

・2月のテーマ　「都会の自然を求めて」
　内容：サイクリング
　目標：体力作り
　実施場所：御所
　実施予定日：３月５日（日）　［1日プログラム］
　活動予定：各ポイントでの課題及びゲームをおりまぜたサイクルラリー形式で行う。

・3月のテーマ　（キャンプのテーマ）
　内容：一泊キャンプ
　目標：基本
　実施場所：花背山の家
　実施予定日：４月１日（土）～２日（日）　［１泊２日］
　活動予定：草木染めによるＴシャツ作り，天体観察，キャンドル

ファイヤーを予定。

・4月のテーマ　「クッキングスカウト」
内　容：野外料理
目　標：準備
実施場所：静原キャンプ場
実施予定日：５月７日（日）　［１日プログラム］
活動予定：従来の野外料理ではカレーライスやシチューなどメニューが偏りがちであったが，課題設定により各組がアイデアを凝らし独創的な料理となるよう工夫する。

・5月のテーマ　（カブラリーのテーマ）　（注）
内　容：カブラリー
目　標：友情
実施場所，実施予定日，活動予定：（未定）

・6月のテーマ　「グリーンパワー」
内　容：自然教室ＰＡＲＴⅠ
目　標：自然保護
実施場所：植物園
実施予定日：７月２日（日）　［１日プログラム］
活動予定：植物観察

・7月のテーマ　（キャンプのテーマ）
内　容：夏季キャンプ
目　標：協力
実施場所：京都府美山町芦生
実施予定日：７月２８日（金）～３１（月）　［３泊４日］
活動予定：ハイキング，夜間ゲーム・訓練，キャンプファイヤー葉書作り他

・8月のテーマ　「動物はともだち」
内　容：自然教室ＰＡＲＴⅡ
目　標：動物愛護
実施場所：動物園及び疎水記念館
実施予定日：９月３日（日）　［１日プログラム］
活動予定：動物観察他

・9月のテーマ　「たすきをつないで」
内　容：お別れ隊集会
目　標：記録
実施場所：鴨川周辺
実施予定日：１０月１日（日）　［半日プログラム］
活動予定：組対抗駅伝大会（もちろんただ単に走るだけではない）

・10月のテーマ　「資源を守れ」
内　容：施設見学
目　標：観察
実施場所：京都市東清掃工場及び東温水プール
実施予定日：１１月５日（日）　［１日プログラム］
活動予定：清掃工場の余熱がどのように利用されているかを学び，資源の有効利用について考える。（もちろん水泳も行う）

・11月のテーマ　「目指せ救急救命士」
内　容：救急法
目　標：安全
実施場所：ハウス長休
実施予定日：１２月３日（日）　［半日プログラム］
活動予定：（未定）

（注）：６月に実施予定のカブラリー（地区行事）が来年度は京都連盟創立８０周年にあたるため例年どおり実施されるかどうか現段階では不明である。地区カブラリーが実施されない場合は，６月隊集会として球技大会を行う予定。

平成７年度　予　算　書

（案）

日本ボーイスカウト京都第３８団

カ　ブ　ス　カ　ウ　ト　隊

平成７年度　カブ隊予算書（案）

［単位：円］

事業名	項目	金額	備考
早起き隊集会	補食費	4,000	12/29 実施予定　４０名参加予定(野行委員含む) カップラーメン　@100 ×40
雪中ハイク	補食費	8,000	2/ 5実施予定　４０名参加予定(野行委員含む) 豚汁 @200 ×40
一泊キャンプ	交通費	24,956	4/ 1～ 2実施予定　40名参加予定(野行委員含む) 叡山電車（出町柳→鞍馬）　マイカー提供！ (@350×16人+@180×18人)×0.9 ＝　7,956 京都バス（花背山の家→出町柳） @680×16人+@340×18人 ＝　17,000
	施設使用料	20,900	宿泊料　@500×40人　＝　20,000 シーツ代(野行委員のみ)　@150×6人 ＝　900
	食材料費	18,000	(夕食@300+朝食@150)×40人 ＝　18,000
	プログラム経費	22,000	Tシャツ代 @500×34人＝　17,000　＋　消耗品　5,000
	会議費他	9,144	組長・次長会議，薬品代他　9,144
	（小　計）	95,000	
カブラリー	参加費他	20,000	実施時期未定　金額は６年度並で計上
夏季キャンプ	交通費	120,000	7/28～31実施予定　44名参加予定(野行委員・奉仕含む) ＪＲバス（ハウス→芦生山の家貸し切り） @60,000×2(往復) ＝　120,000
	施設使用料	195,300	宿泊料(@1200×21人+@1700×10人)×2泊＝　84,400 @1,700×13人×3泊 ＝　66,300 炊飯場使用料　@150×44人×6回 ＝　39,600 テント設営料　@1,000×5張 ＝　5,000
	食材料費	100,000	６年度決算額は　93,915円
	プログラム経費	20,000	ハイキング，夜間ゲーム・訓練，薬書作り，キャンプファイヤー他
	会議費	10,000	組長・次長会議他
	レンタカー	30,000	２ﾄﾝ積トラック１台×２回（ガソリン代含む）
	手土産代	6,180	２回分
	下見費用	15,000	３～５回
	消耗品・薬品代	10,000	
	反省会費用	10,200	@300×34人　＝　10,200
	雑費	13,320	
	（小　計）	530,000	
その他	進歩関係	30,000	チャレンジ章他
合計		687,000	

注－１　この予算書に記載した事業は団育成会予算関連の事業のみで，その他の隊活動は隊費を充当。

２　京都連盟８０周年関連経費については計上せず。

平成７年度ＣＳ３８夏季キャンプ下見報告書

（6．9．14）

行　　先　：　京都府芦生青少年山の家
住所：〒601-06　北桑田郡美山町芦生　　☎：０７７１７－７－０２９０（不在の時０２３６）
芦生なめこ組合工場　↑

施設概要　：　木造２階建（築２０年くらい）　　宿泊定員６０名
１階…宿泊室（和室１０畳×２），トイレ（汲み取り式男女別），風呂（男：７～８名．女３～４名）洗面所，自炊客用調理場（２升炊ガス釜×４，一口ガスこんろ×３，冷蔵庫×１，流し×２，調理台×１，その他鍋・食器等があり，すべて利用可能とのこと），男子脱衣室に洗濯機，食堂（別棟で３間×４間の広さの洋室，机・椅子約４０人分があり，キャンドルファイヤーの会場としての利用も可能），ホール（２０人くらいまでの会議が可能）
２階…宿泊室（洋室２段ベッド８人×３，和室１０畳・８畳各１室）
他に…グランド（テント１０張程度の設営が可能，野外炊事をする場合は隅につんである石を使ってかまどを作るとのこと。キャンプファイヤーも可能）

交　　通　：　①　－（ＪＲバス）－下中－（美山町営バス下中線）－安掛－（美山町営バス知井線）－知見口－（美山町営バス佐々里線）－出合－（美山町営バス芦生線）－芦生　下車徒歩３分
②　京都バス３２系統終点「広河原」下車徒歩約４時間
③　ハウス長休から約５３㎞，岡本号で約１時間３０分［平成６年９月１２日（月）の場合］

使用料　：

宿　泊　料	（小・中学生）	一人一泊	１，２００円
	（高校生以上）	一人一泊	１，７００円
厨房利用料		一人一食	１５０円
テント持込料		張・泊	１，０００円

申込方法　：　平成７年夏休みの利用の申込みは平成７年１月３日から電話で受け付けるとのこと。
４５名程度の団体であれば貸切利用が可能（緊急避難などにより同宿してもらう場合があるかもしれないが）であり，その場合の使用料も実際の人数分でよい。
途中にテント泊がある場合でも，他の利用客は入れない。（降雨時の避難場所確保のため）
テント泊の時はテント持込料のみで宿泊料を払う必要はない。

医療機関　：　平屋診療所（車で３０～４０分，医師常駐で夜間の診察も可能）

そ の 他　：　入浴は原則として午後８時までだが，それ以後の入浴も可能。
京都市内からのルートである府道（広河原美山線）は，No．３８である。

＜参　考＞

１　下見時岡本号（パジェロ）の走行データ

（距離）	15.4㎞	3.6㎞	5.8㎞	4.3㎞	2.9㎞	53.4㎞	
（地点）	花背山の家→広	河　原→佐	々 里 峠→佐	々　里→出	合→芦生山の家→ハウス長休		
（時間）	12:25	12:44	12:50	13:01	13:08	13:15－14:15	15:40

２　参考資料（別紙）
（1）芦生山の家リーフレット＜含料金表＞　（2）美山町営バス時刻表　（3）芦生山の家内部写真

３　芦生山の家管理人　：　清水　藤太郎氏
（自宅住所）北桑田郡美山町大字芦生小字スゲ尻２４
☎：０７７１７－７－０７０９

ＣＳ３８　平成７年度夏キャンプ下見報告書

「実施日：平成６年１１月３日（木）　晴」
「参加者：西脇隊長，南・山本・岡本副長」

9:00　西脇隊長宅集合・出発
10:40　佐々里峠出発（自動車組：西脇・南，徒歩組：山本・岡本）
＜　以　下　は　徒　歩　組　の　記　録　＞
11:00　最初の難所を通過
11:05　読めない標識（左へ進路をとる）
（途中に道が崩れたため迂回路をとる場所有り）
11:40　小休止
11:45　出発
11:58　灰野谷出会（標識有り）
（しばらく歩くと沢から離れて急な尾根伝いに下る道となる…要注意）
12:30　灰野着（トロッコ道に出る）小休止
12:37　出発（由良川源流をトロッコ道に沿って下る快適な歩行）
12:52　進行方向右手に人家有り
12:58　京都大学芦生演習林事務所前通過
13:03　芦生山の家到着（自動車組の２人と合流）

佐々里峠から芦生山の家までの所要時間：２時間２３分（休憩時間１２分を含む）

昼食をとった後，芦生山の家管理人清水藤太郎氏と利用についての打合せと確認を行い，正式の受付は平成７年１月３日以降であるが，一応仮受付してもらえたとの感触が得られた。

その後，隣接する「芦生木工組合」に坂中伸一氏を訪ね話しを伺い，夏キャンプのプログラムに木工教室が可能であることがわかった。

芦生木工組合：　☎0771-77-0538　FAX -0722 日祝も営業

木端を利用したクラフト：@４００円
蒸気機関車のキット　　：@５００円
電動糸鋸切抜きクラフト：@６００円

木工用ボンド
糸鋸の刃等の
消耗品代含む

芦生からの帰路１０月９日にオープンした山村都市交流の森（花脊八桝町）で休憩し（コーヒー・紅茶各３００円），さらに花背山の家を経由して，西脇隊長宅前に午後５時３０分頃到着，後解散。

まとめ：　今回の下見の目的は，本部による施設見学と芦生山の家利用に対するアピールとさらに，佐々里峠からの入所ハイキングコースの実地踏査を兼ねたものであった。しかし，入所ハイキングコースについては前日の降雨により状態が良くなかったとはいえ，副長２名による歩行で２時間以上を要し，しかも途中難所が数箇所（固定ザイルの必要な箇所１０箇所くらいか）有り，カブ隊の歩行プログラムのコースとしては適当とは言えず，入所ハイキング実施の有無及びコースについては検討する必要があると思われる。